

測量計算・電子野帳 (TS)

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2019/03

Ver 3.1.7 にて追加された機能です。

- ・マルチボタンに、“H測定”を追加

1、マルチボタンに、“H測定”を追加

要望がありましたので、追加しました。
GT-505(自動視準)を使用している方からです。

自動視準の TS をお持ちの方でも、自動視準機能を使用しないで運用されている方は多いです。

理由は、自動視準機能を使うと視準と杭の中心が一致しない事が多いので、使わないで手動で視準しているとの事です。

(ミラーの中心を視準したり、光量の多い方向を視準したりと、各社仕様があります。)

GT-505 なので、「TS 条件」の“ソキア・トプコン(モーター機)”を選択し自動視準は使用しないので、“○なし”を選択です。

そして、測定手順は下記のようにしているそうです。

1、 視準点にピンポールプリズムが置ける場合

- ①視準点にピンポールプリズムを置き「サーチ」→「測定」ボタンと押し H V S を取得。
- ②ピンポールの先端を手動で視準して視準差がある場合、測距モード「精密」を「H」に変更後「測定」→「登録」とボタン押す。

2、 視準点にピンポールプリズムが置けず、プリズムのみを使用する場合

- ①視準点または視準点横にプリズムを置き「サーチ」→「測定」ボタンと押し H V S を取得。
- ②プリズムを外し視準点を手動で視準し、測距モード「精密」を「H」に変更後「測定」→「登録」とボタン押す。

2 は、電柱とかのミラーを直接置けない場合の測定方法です。

「H」に変更後「測定」ボタンを押して測定すると、測距モードは「精密」に戻りますので、戻す手間は不要です。

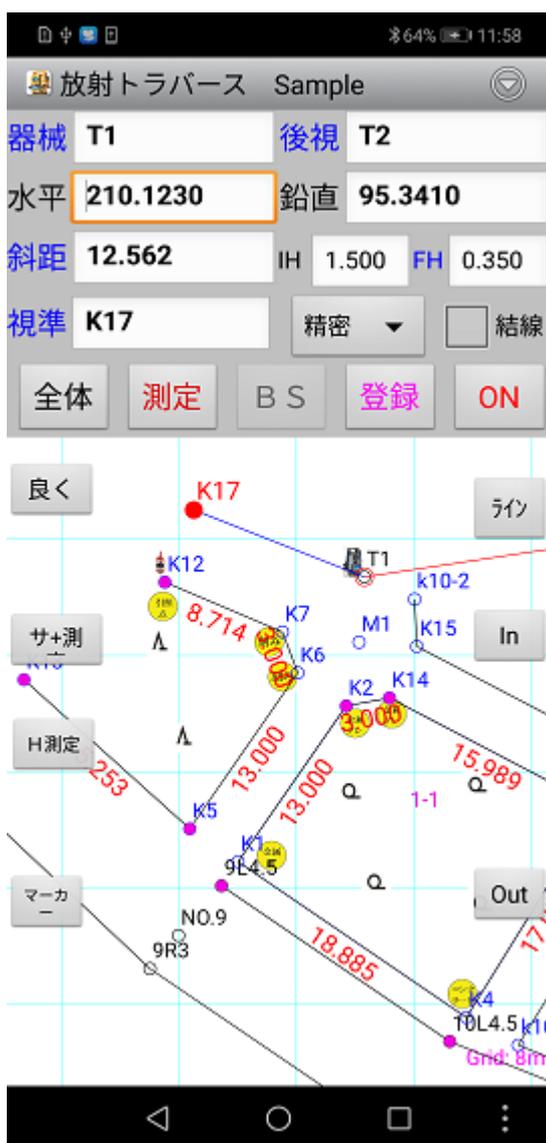
ですが、最初の測距モードを「精密」から「H」に変更するのが手間なのでマルチボタンに、「H測定」を追加してより早く測定したいとの要望です。

マルチボタンに、「H測定」を追加しました。
モーター機に関わらず、どの測量機を選択していても使用できる機能です。
「放射トラバース」と、「野帳観測・入力」で使用できます。

51, H測定

が、MultiBton.txt に追加されていますので、更新してください。

Android_Data1.zip に入っています。



測距モードは、「精密」のまま
マルチボタンの「H測定」ボタンを押すと、
水平角のみを取得し更新します。

「H」に変更と「測定」が1個のボタンで
可能になったという事です。